

# Trinnov App. user manual

V 3.1 - 10/2020

[Trinnov App ダウンロード リンク](#)



---

[Trinnov menu / check for update](#)

[Trinnov menu / Preference](#)

[Windows/gateway status](#)

[Windows/machine remote](#)

[Windows/meters](#)

[Control / Connect to machine](#)

[Machine custom name](#)

[Control/monitoring features \(Mute/Dim, Volume up & down, talkbacks\)](#)

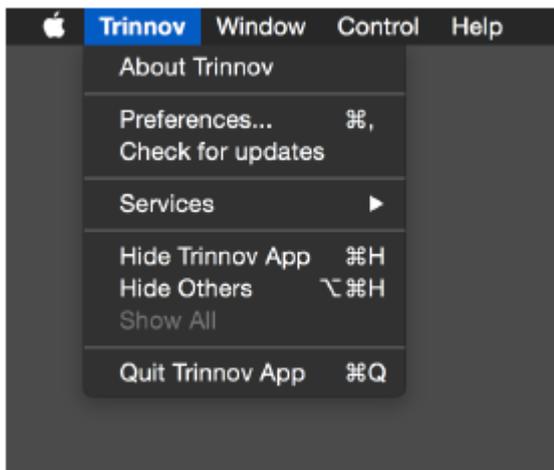
[Control / machine interface](#)

[Control/machine backup](#)

[EUCON](#)



## Trinnov menu / check for update

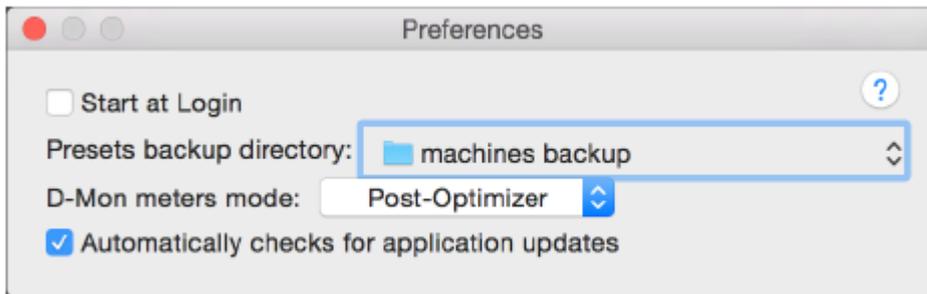


新しいバージョンがリリースされると自動的にお知らせします。

常に最新バージョンを使用してください。新バージョンが利用できる場合、リリースノートが表示されます。

これには修正されたバグや変更、新機能などの更新情報を知ることができますので、アップデートのタイミングの判断を行う手がかりとなります。

## Trinnov menu / Preference

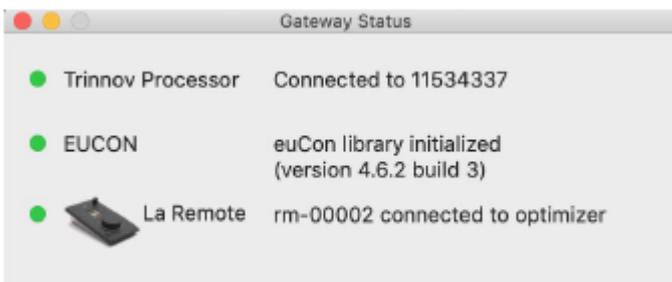


ユーザー エクスペリエンスを簡素化するために、設定ウィンドウのデザインを再設計しました。すべてのマシン接続機能は、「コントロール」トップメニューから利用できるパネルに配置されています。

事前に設定した バックアップディレクトリ は、リモートマシンのバックアップの基本的な場所であり、ディレクトリツリーが内部に作成されます(デバイスごとおよびバックアップ日ごと)。

DMon meter mode は、フローティング メーター ウィンドウ の信号を、オプティマイザーの入力(入力ステージ, ソースのサミング後, ソースゲイン適用後)または出力(after all optimization process(すべての最適化処理後), bass management(ベースマネージメント), cross-overs(クロスオーバー), main volume gain(メインボリュームゲイン))から選択することができます。

## Windows/gateway status



このパネルでは、ワークステーション周辺の Trinnovアプリケーションによって処理されるネットワークコネクションを監視することができます。

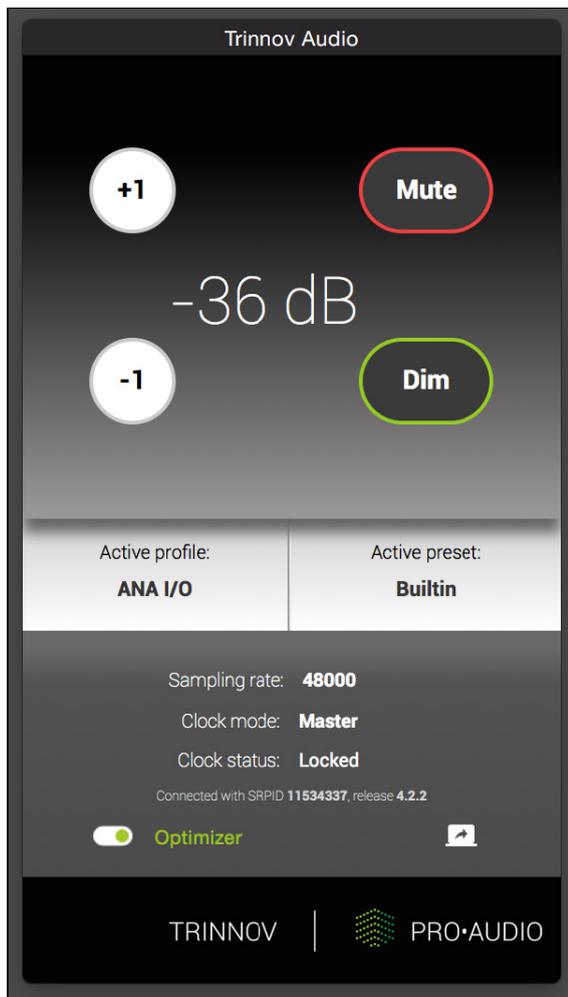
最初の項目はプロセッサへのアップリンクで、ショートカットとEUCONとのインテグレーションに使用されます。



2番目の項目は、EUCONライブラリが有効な場合に、その状態を表します。詳細については、このドキュメントの最後にある [EUCON セットアップノート](#)を参照してください。

最後の項目は、Trinnov Audio USB リモートコントロールデバイスに関する情報で、このデバイスは Trinnov アプリケーションを実行しているワークステーションに直接接続することができます。

## Windows/machine remote



Trinnovアプリは、お使いのプロセッサモデルに応じて、Trinnovのメインコントロールパネル(ソフトウェアバージョン4以上のウェブベースデバイス用)、または基本機能のみのリモート表示となります。

基本機能のみの表示の時に、現在のプリセットまたはプロファイルを変更するには、Preset / Profile ボタンをクリックし、ロードしたいアイテムを選択してください。

右下のアイコンは、パスワードを要求されることなく、プロセッサのUIを開きます。

バージョン4以上のプロセッサの場合、この仮想リモートは、メニューの Minimal interface エントリからも表示させることができます。メインインターフェースを閉じた場合は、標準インターフェース エントリメニューで再び表示することができます。

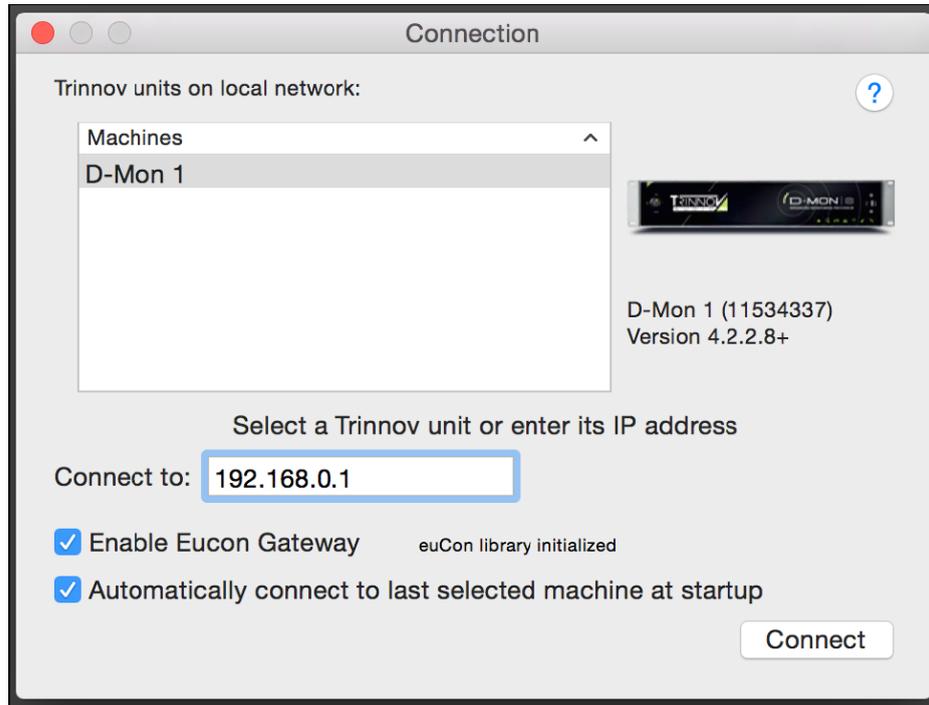
## Windows/meters

D-Monシリーズではメーターの表示があります。この機能はUDPの48000番のポートを使用しています。使用するにはネットワークのこのポートを開けてください。





## Control / Connect to machine



ここで制御したいマシンを選択します。検出されたすべてのローカルマシンが自動的にここにリストアップされます。リストの中から1台を選択すると、そのIPアドレスがターゲットの「connect to」フィールドにコピーされます。

検知には、ZeroConf/Bonjour 規格または独自のブロードキャストパケットが使用されます。ネットワークの制限によりマシンが検出されない場合は、手動でIPアドレスを入力してください。

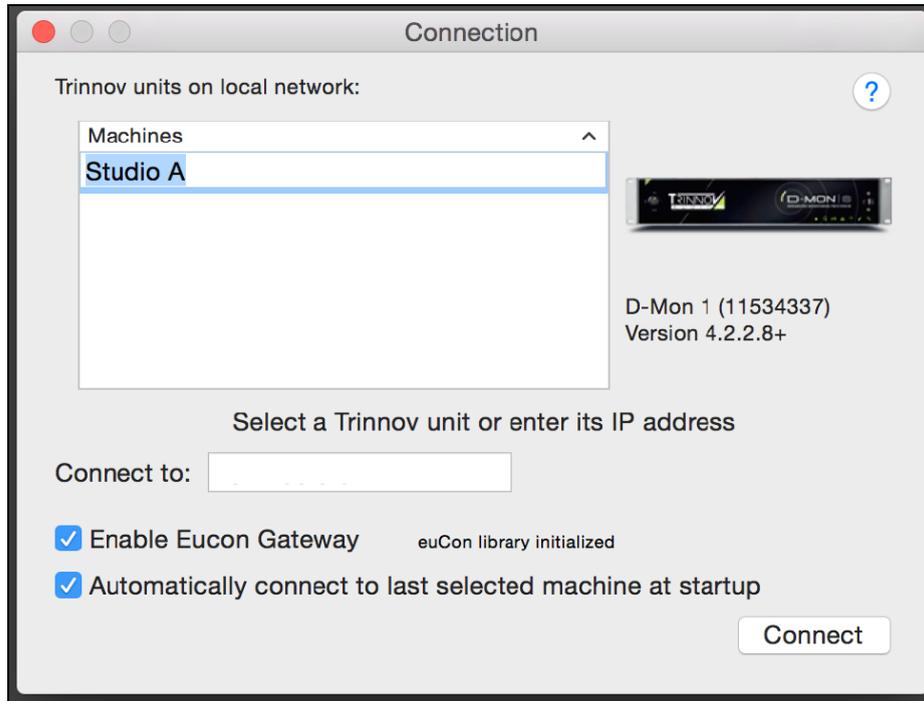
マシンとこのアプリケーションの間の制御プロトコルは、標準的なHTTPポート80を使用します。

マシンのソフトウェアバージョンがリリース4より前の場合は、ポート 44100 に Trinnov社独自の telnet プロトコルが使用されます。そのため、それらのマシンをコントロールするには、IPアドレスのサフィックスとして「:44100」を「connect to」フィールドに記入してください。この場合、ネットワーク上のこのポートを開けておく必要があります。

アプリケーションの EUCON の機能を使用する場合は、対応するチェックボックスを選択し、ワークステーションの EUCON service 内にTrinnovを設定しておく必要があります。



## Machine custom name



デバイスリストに表示されるデバイスの名前を、ローカル構成に合わせて変更することが可能です。これを行うには、リストでマシンを選択し、名前をもう一度クリックします(ダブルクリックではありません)。

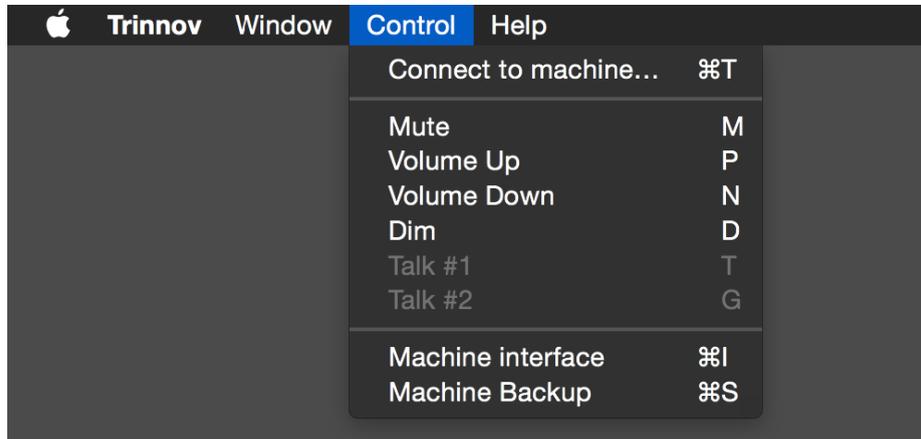
新しい名前を入力し、"return"で有効にします。マシンのカスタム名はマシン自体に保存されるため、ローカルネットワーク上の他のワークステーションにもこの名前が表示されます。この機能は、以下のユーザーのみ利用可能です。

最新のソフトウェアバージョン4のユーザーのみが利用できます。



## Control/monitoring features (Mute/Dim, Volume up & down, talkbacks)

このメニューや関連するショートカットを使ってデバイスを操作することができます。現在のデバイスに適用されない場合は、トークバックエントリーが無効になることがあります。

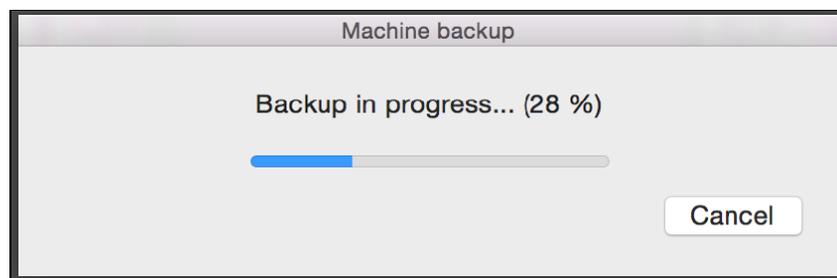


- **Control / machine interface**

ご使用機器のリモートインターフェースを開きます。パスワードは必要ありません。

- **Control/machine backup**

**Machine Backup** は、Preset, マイク補正ファイル, PDFレポート, スナップショット, Profile, ユーザーEQやカーブなど、すべてのマシンパラメータをワンクリックで保存することができます。



バックアップ中に進捗状況が表示され、プロセス終了時にはバックアップの検証が行われます。



## EUCON

Avid® EUCON対応のハードウェア(S6, Dock, iPadアプリなど)とTrinnovデバイスを簡単に統合し、モニタリングコントロール(メインボリューム、ディム、ミュートなど)を行うことができます。EUCONは双方向のコマンドが可能な強固なプロトコルです(Trinnovからサーフェスへのステータスレポート、サーフェスからTrinnovへのオーダー)。

お使いの Trinnovデバイスによっては、基本機能のモニタリングのみ可能です。ミックスバス/キューや、複数のソースを入力で SUM するなどの高度な機能は、D-Monユーザーのみが利用できます。

ワークステーション上で動作するTrinnovアプリは、お客様のTrinnovシステムとEUCONコントロールデバイス間のゲートウェイとして機能します。ステータスウィンドウには、このゲートウェイの2つの側面が表示されます。一方ではTrinnovデバイスへのアップリンクが、もう一方ではEUCONの初期化とリンク状態が表示されます。この機能を使用するには、Trinnovアプリケーションの起動前に、最新のAVID® EUCONパッケージがワークステーションにインストールされている必要があります。